

和歌山県の地震

令和6年4月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

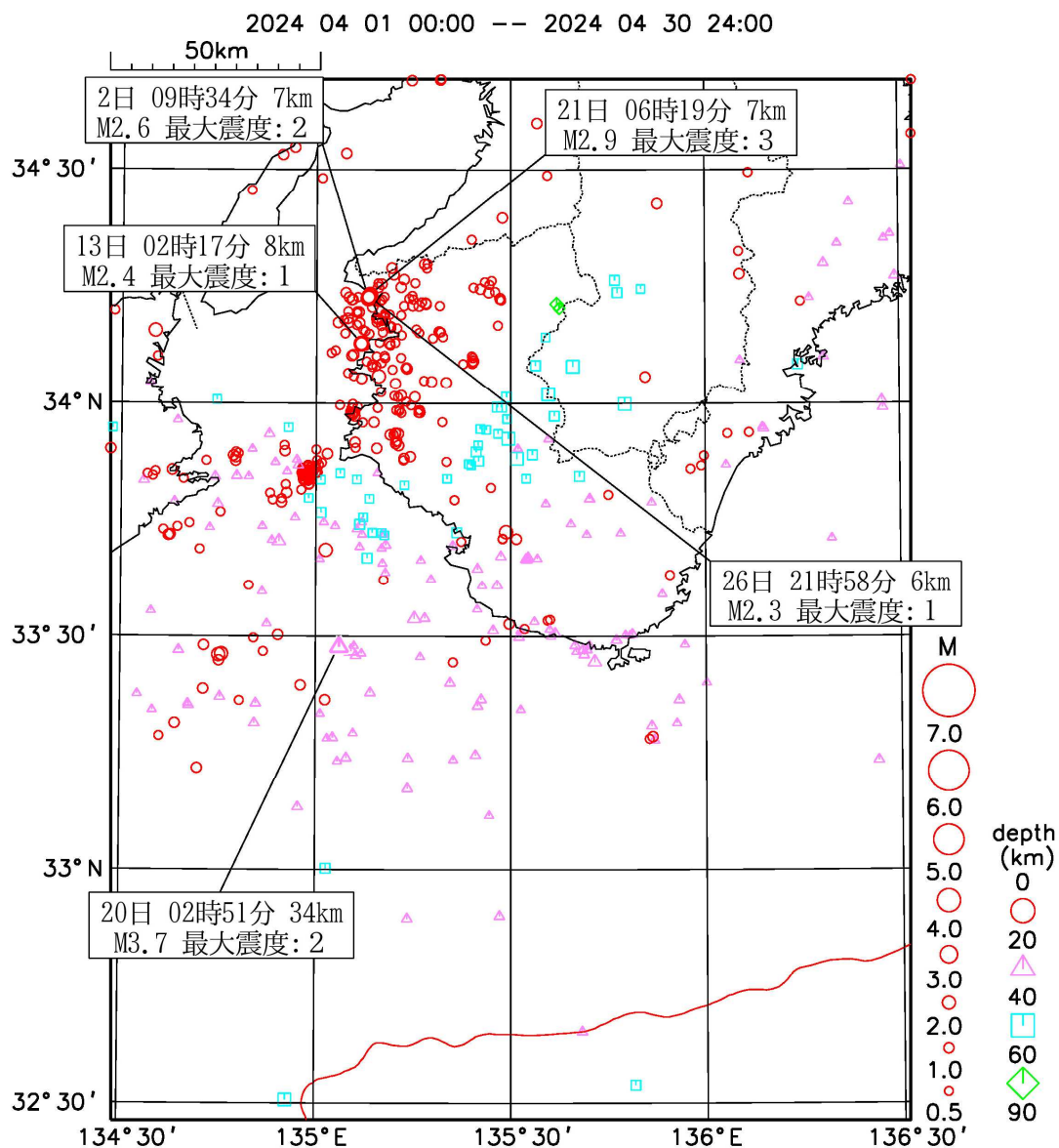
和歌山県付近の中央構造線断層帯	・・・・・・・・ 6
-----------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

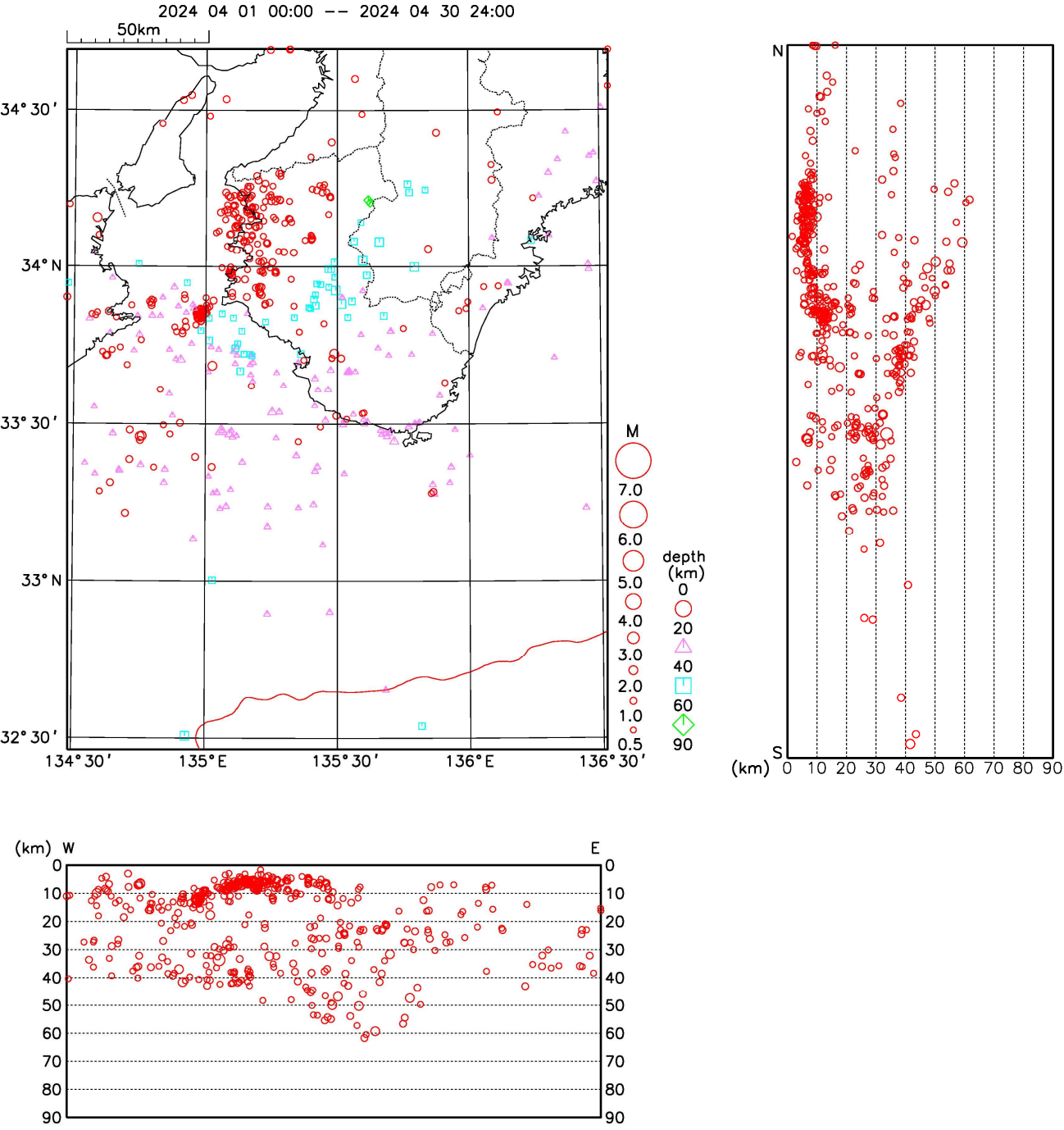
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

4月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は22回（前月は26回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、20日02時51分の和歌山県南方沖の地震（深さ34km、M3.7）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

4月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、6回（前月4回）でした。

【断面図】



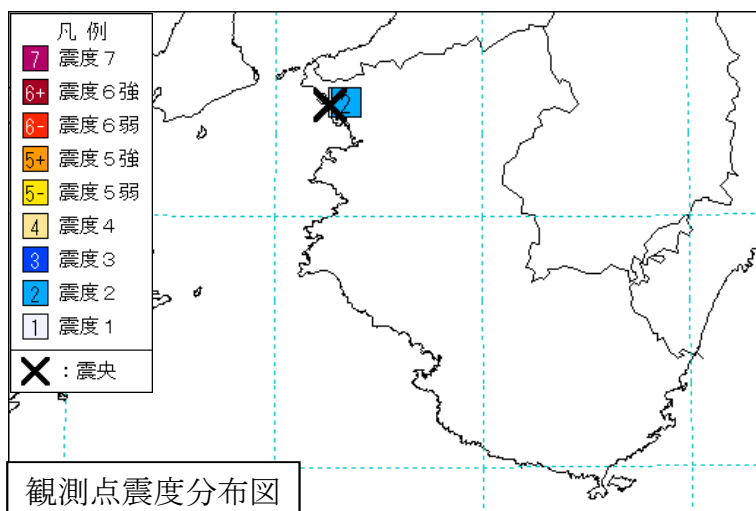
【和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2024年04月02日09時34分	紀伊水道	34° 13.4' N	135° 07.9' E	7km	M2.6
和歌山県 震度 2：和歌山市一番丁＊ 震度 1：和歌山市男野芝丁					
2024年04月13日02時17分	紀伊水道	34° 07.7' N	135° 06.9' E	8km	M2.4
和歌山県 震度 1：海南市下津＊					
2024年04月17日23時14分	豊後水道	33° 12.0' N	132° 24.5' E	39km	M6.6
和歌山県 震度 2：和歌山市男野芝丁, 有田市箕島, 有田市初島町＊, 御坊市湯川＊, 和歌山美浜町和田＊ 和歌山日高町高家＊, 紀の川市粉河 震度 1：和歌山市一番丁＊, 橋本市高野口町名倉＊, 御坊市藺, かつらぎ町丁ノ町＊ 湯浅町青木＊, 和歌山広川町広＊, 由良町里＊, みなべ町土井, みなべ町芝＊ 日高川町土生＊, 紀の川市那賀総合センター＊, 紀の川市西大井＊ 紀の川市桃山町元＊, 紀美野町下佐々＊, 有田川町下津野＊, 有田川町中井原＊ 岩出市西野＊, 田辺市中辺路町近露, 新宮市磐盾＊, 白浜町消防本部, 上富田町朝来＊ 古座川町高池					
2024年04月20日02時51分	和歌山県南方沖	33° 28.6' N	135° 03.6' E	34km	M3.7
和歌山県 震度 1：御坊市藺, 御坊市湯川＊, 湯浅町青木＊, 日高川町土生＊					
2024年04月21日06時19分	紀伊水道	34° 13.9' N	135° 08.2' E	7km	M2.9
和歌山県 震度 3：和歌山市一番丁＊ 震度 1：和歌山市男野芝丁, 紀美野町下佐々＊					
2024年04月26日21時58分	紀伊水道	34° 13.6' N	135° 08.0' E	6km	M2.3
和歌山県 震度 1：和歌山市一番丁＊					

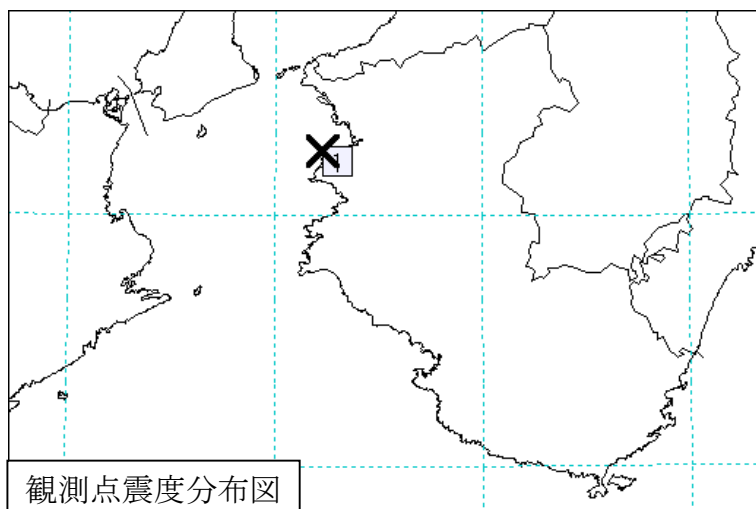
地点名の最後に＊のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

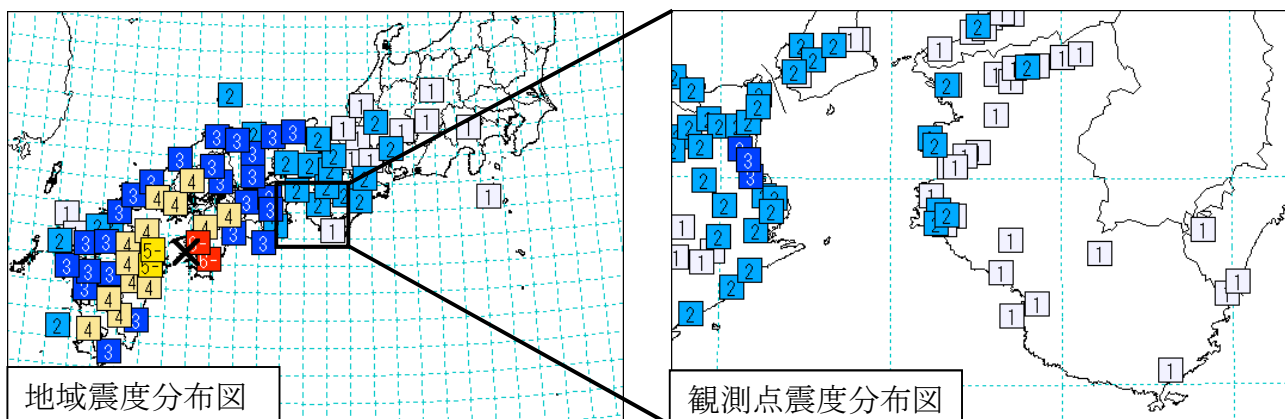
2024 年 04 月 02 日 09 時 34 分 紀伊水道の地震（深さ 7km 、M2.6）



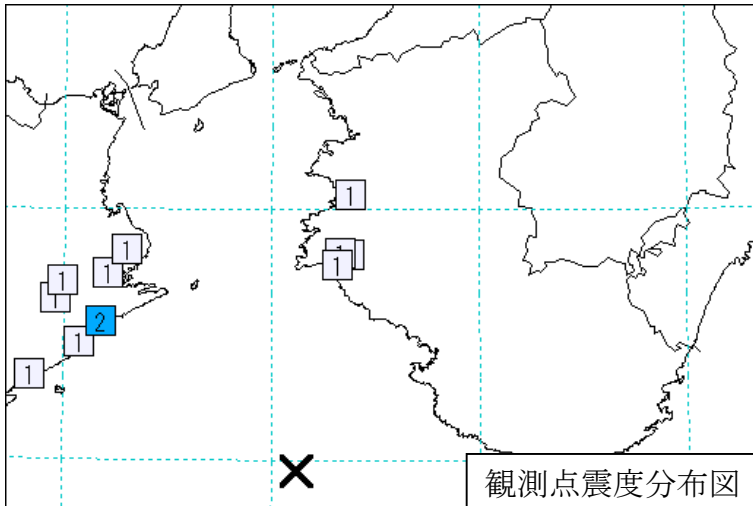
2024 年 04 月 13 日 02 時 17 分 紀伊水道の地震（深さ 8km 、M2.4）



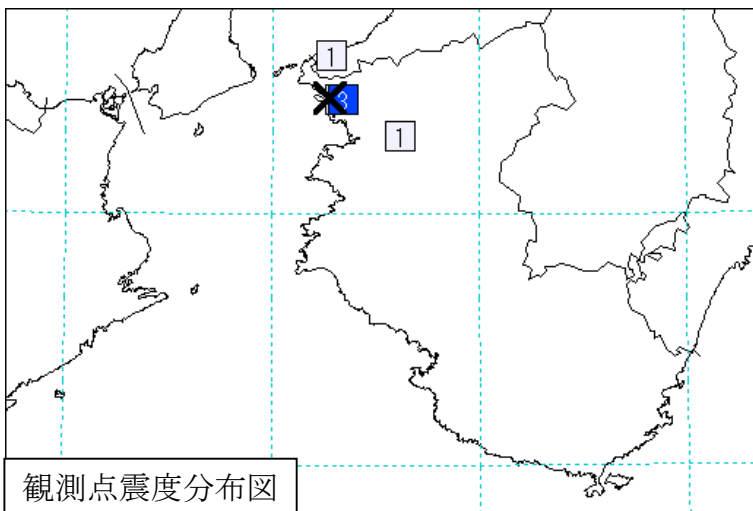
2024 年 04 月 17 日 23 時 14 分 豊後水道の地震（深さ 39km 、M6.6）



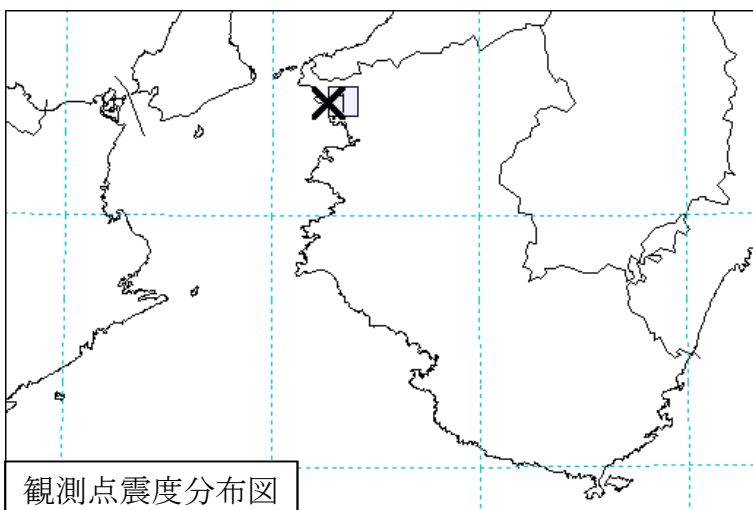
2024 年 04 月 20 日 02 時 51 分 和歌山県南方沖の地震（深さ 34km 、 M3.7）



2024 年 04 月 21 日 06 時 19 分 紀伊水道の地震（深さ 7km 、 M2.9）



2024 年 04 月 26 日 21 時 58 分 紀伊水道の地震（深さ 6km 、 M2.3）

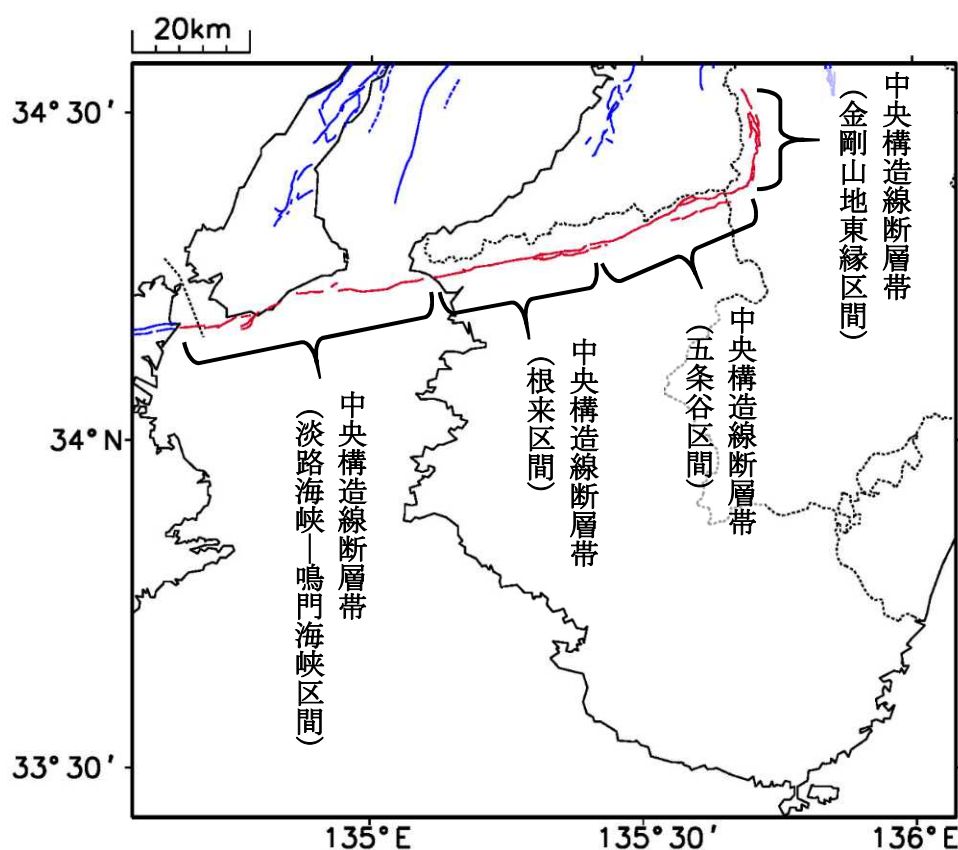


2. 地震一口メモ

和歌山県付近の中央構造線断層帯

政府の地震調査研究推進本部は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震や平成28年（2016年）熊本地震のような規模の大きい地震が発生する可能性のある全国114の主要な活断層について、過去の活動履歴を調べ、次に発生する地震の規模や一定期間内に地震が発生する確率などを評価（長期評価）しています。中央構造線断層帯もその一つです。

中央構造線断層帯は、奈良県から大分県まで伸びる全長約444kmの長大な断層帯です。過去の活動時期や断層の形状等の違い、平均的なずれの速度などから、全体を10区間に分けて長期評価を行っています。このうち和歌山県付近の各区間と発生確率等（算定基準日：令和6年1月1日）は、以下の図及び表のとおりです。



断層名 (活動区間)	予想される 地震の規模	地震発生確率	
		30年以内	50年以内
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁区間)	6.8程度	0.001%未満	0.001%未満
中央構造線断層帯 (五条谷区間)	7.3程度	不明	不明
中央構造線断層帯 (根来区間)	7.2程度	0.008～0.3%	0.01～0.5%
中央構造線断層帯 (紀淡海峡—鳴門海峡区間)	7.5程度	0.005～1%	0.009～2%

○地震調査研究推進本部HP > 長期評価

https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation

活断層で起きる地震は、発生間隔が数千年程度と長いため、30年程度の間の地震発生確率値は大きな値とはなりません。例えば、平成7年（1995年）兵庫県南部地震の発生直前の30年内確率値は0.02%～8%、平成28年（2016年）熊本地震の場合はほぼ0%～0.9%でした。

発生確率の数値の重みを受け止める上での参考として、自然災害や事故などの発生確率と比較してみましょう。30年間に交通事故によって死亡する確率は約0.2%です。確率としては低く感じるかもしれませんが、日頃から事故にあわないように注意している人は多いと思います。交通事故の確率と単純に比較はできませんが、活断層への防災・減災の対策が必要です。

（確率値等は地震調査研究推進本部HPより引用）

【参考】今後30年以内にあらう自然災害や事故などの発生確率
（地震調査研究推進本部「全国を概観した地震動予測地図」2006年版より抜粋）

火災で罹災	1.9%
ひったくり	1.2%
大雨で罹災	0.5%
台風で罹災	0.48%
交通事故で死亡	0.2%
大雨で死傷	0.002%

日本には約2,000の活断層が見つかっており、まだ見つからない活断層が多数あるといわれています。

また、陸側の浅い地震は、中小規模の断層でも、大きな被害が生じる可能性があります。

そのため、日本に住む以上、どこにいても陸域の浅い地震に対する備えが必要です。

○パンフレット「活断層の地震に備えるー陸域の浅い地震ー」（気象庁HP）

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/katsudansou_kinki.pdf

○地震から身を守るために（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/jishin_bosai/index.html